

施策項目 15 食育の推進

【評価結果】

【担当課:健康・体育課(社会教育課)】



担当課HP

総合評価	概ね計画どおり
------	---------

定量評価 [指標]	B
-----------	---

指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)
	評価数	0	1	2	0
	d評価となった指標				

定性評価 [施策]	進展あり
-----------	------

望ましい食習慣の定着、安全・安心な学校給食の充実に向けて、保護者・地域住民の理解、学校における全教職員の理解が課題となっていることから各種普及啓発活動を実施した。全国学校給食研究協議大会の参加者が1,000名を超えたことを始め、各種普及啓発活動の参加者はオンラインの活用などにより増加しており、一定の進展が認められる。

【施策の推進状況】

【P】・・・「Plan 令和3年度の主な施策」 【D】・・・「Do 主な取組の状況」
 【C】・・・「Check 施策の課題」 【A】・・・「Action 今後の方向」

《課題・背景》	<p>(1) 学校、家庭、地域が連携・協働した食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝食を毎日食べている児童生徒の割合が目標値に未到達であるが、「早寝早起き朝ごはん」運動啓発強化期間の設定やパネル展の開催、推進校事業等を通じて普及啓発することにより、望ましい食習慣の定着の重要性について、保護者や地域住民の意識の向上が見られた。 食育推進体制の研修会を開催しているものの、栄養教諭以外の出席が少ない状況 <p>(2) 安全・安心な学校給食の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 地場産物は価格が高いことや量の確保が難しいなどの理由から使用割合が増えていない 「学校給食衛生管理基準」に基づく衛生管理や研修の実施等の対応を求めているが、食中毒事故の発生や異物混入等の事故が後を絶たない状況
---------	--

(1) 学校、家庭、地域が連携・協働した食育の推進	
【P】	<p>① 家庭等と連携した望ましい生活習慣の改善に向けた取組の実施</p> <p>② 栄養教諭を中心とした食育推進体制の整備・充実に向けた指導助言及び研修の充実</p>
【A】	<p>① 「早寝早起き朝ごはん」運動等の取組の一層の強化</p> <p>② 講演や実践交流を通じて、全教職員で取り組む食育の必要性の理解を図る取組が必要であることから、引き続き、学校および調理場の管理職や栄養教諭を対象とした食育推進研究協議会を開催</p> <p>・北海道学校給食研究大会を開催し、事例発表を基に、栄養教諭を中心に全教職員が連携・協力した食育推進体制や研修の在り方について、研究協議を実施</p>
【D】	<p>① 「早寝早起き朝ごはん」運動啓発強化期間を設定 (7～8月、12月～1月)</p> <ul style="list-style-type: none"> 望ましい生活習慣の定着や家庭教育の推進に関するパネル展を開催 (1月、札幌市) <p>② 全国学校給食研究協議大会 (北海道大会) の開催 (10月、札幌市 (オンライン形式) 参加者数1,230人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「食育推進研究協議会」の実施 (2月、札幌市 (オンライン形式) 参加者数126人) 学校の管理職等を対象とした各種研修会、会議等における講師 (オンデマンドおよび紙面開催)
【C】	<p>① 全国調査の結果、朝食の摂取に課題が見受けられることから、引き続き、各家庭における実践につながるよう情報発信等の普及啓発が必要</p> <p>② 栄養教諭を中心として全教職員で取り組む食育推進体制の確立を図るため、学校および調理場の管理職の理解促進や、栄養教諭の資質能力の向上を図る研修等を継続していくことが必要</p>

(2) 安全・安心な学校給食の充実	
【P】	<p>① 地場産物を活用した特色ある献立の周知及び活用促進に取り組んでいる実践事例等の普及・啓発</p> <p>② 学校給食共同調理場の衛生管理の改善を図る取組の実施</p>
【A】	<p>① 北海道学校給食研究大会の事例発表を基に、地場産物を活用するための献立作成と調理技術向上の方策について、研究協議を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、北海道学校給食コンクールを開催 <p>② 衛生管理指導者派遣事業や保健所と連携した取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道学校給食研究大会の事例発表を基に、学校給食施設に応じた衛生的な調理作業の改善と工夫について、研究協議を実施
【D】	<p>① 全国学校給食研究協議大会 (北海道大会) の開催 (10月、札幌市 (オンライン形式) 参加者数1,230人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地場産物を活用した献立を募集し、北海道学校給食コンクールを開催 (2月、札幌市 (オンライン形式) 参加者数26人) <p>② 全国学校給食研究協議大会 (北海道大会) の開催 (10月、札幌市 (オンライン形式) 参加者数1,230人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 衛生管理指導者の派遣による指導 (8管内8施設) 学校給食衛生管理基準に基づく定期検査により課題のあった学校給食施設に対する保健所と連携した指導 (13管内) 健康教育研修会における食物アレルギー対応についての講師派遣 (11月、旭川市 (ハイブリット方式) 集合19人、オンライン125人)
【C】	<p>① 地場産物の使用拡大と学校給食の食事内容の充実に図るため、地域と連携した取組が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域と連携した地場産物を活用した取組を、幅広く全道に周知し、普及・啓発を図ることが必要 <p>② 引き続き、学校給食に起因する事故発生件数を減少させるため、衛生管理上、課題のある学校給食施設に対し指導助言をするなど、地域と連携した取組が必要</p>

[指標の状況及び評価]

指標の内容	基準値	目標値（上段）						進捗率	評価	出典 (調査名等)	実施主体	調査期 日又は 調査対 象期間	指標の 対象	
		実績値（下段）												
		(H29)	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)	(R4)							
① 「朝食を毎日食べていますか」という質問に対して、「食べている」と回答した小学校6年生、中学校3年生の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】 (「施策項目17」に再掲)	小	(H29)		100	100	-	100	100	83.7%	C	全国学力・学習状況調査	文科省	R3.5.27	公立小・中学校の児童生徒(小6・中3)
		84.4	84.4	81.8	84.0	(81.6)	83.7							
	中	(H29)		100	100	-	100	100	80.0%	C				
		81.4	81.4	77.9	80.8	(78.3)	80.0							
② 学校給食における地場産物の活用状況(学校給食に使用した道産食材の割合(%) (食品数ベース))	(H28)		44.0	46.0		50.0	50.0	96.4%	b	文部科学省栄養報告調査	文科省	R3.6 R3.11	学校給食調理場(道立学校・市町村)	
	41.9	45.1	-	48.7	-	48.2								
評価結果	(a) 指標数	(b) 指標数	(c) 指標数	(d) 指標数	定量評価		B	d評価に対する今後の取組						
	0	1	2	0										